



当時のお話

醍醐（醍醐地区）

さわい ふみ お
澤合 文雄さん

写真は昭和29年のもので、道路の拡幅整備に住民総出で取り組んでいる写真です。この道路は当時の横越上地区の中心的な道路で、昭和40年代の基盤整備事業を経て、現在市道醍醐戸出放寺新線として地域住民の生活に大きく寄与しています。

近年「市民協働のまちづくり」がよく取り上げられていますが、まさにその先駆けといえる光景だと思います。今ならブルドーザー等の建設重機であつという間かもしれませんが、スコップやリヤカーを駆使した人力での作業は、当時は大変な重労働だったと思います。このような作業を通じて、地域のコミュニティや住民の絆が自然に強まっていったのだと眺めています。地域の歴史を伝える写真として、大切にしたい一枚です。